

ニ在ルモノハ白色、或ハ灰色ニシテ、黑色ノ間道アリ、梁柱戸扉等ニ在ルモノハ褐色ニシテ微黒、草上ニ在ルモノハ綠色、俱ニ能跳テ蠅ヲ捕食フ、

〔閑窓自語〕土御門故從二位泰邦卿かたられけるは、享保のはじめ、世に蠅とりぐもとかやいふ虫をもてあそぶ事あり、風流なるちいさき筒に入れて、蠅のいる所へとばせてとらしむ、一尺二尺など遠くとぶをもて最上とす、よくとぶ蜘蛛は、あまたのこがねにかへて、あらしむもとめ、蜘蛛をして博奕に及ぶのあいだ、武家より制してやめしむとぞ、世にめづらしきもてあそびもありけるなり、

〔嬉遊笑覽十二禽二蟲一〕一代男、四東國浪人のことをいふ處に、今江戸にはやるとて、蠅とり蜘蛛を仕入とあり、これは先年にはやりし事ありき、はい取蜘蛛は、本草に蠅虎と云り、大小數品ありて、其居る處に從て、色もさまざまなり、草に住ものは綠色なり、いづれも跳りて蠅を取食ふ、

絡新婦

〔和漢三才圖會五十二卵生二蟲一〕絡新婦、斑蜘蛛、俗云女郎蜘蛛中

按絡新婦、俗稱女郎蜘蛛者是也、黃黑綠赤斑美而却醜、其毒最甚故也、形長於蜘蛛、細腰尖尻、手足長而黑、其絲黏也如藕、而帶黃色、布網于樹枝及家擔、人捕打之、則性脆潰而流血死、其他蜘蛛乃無血、其尻尖兩處、隨動搖光閃閃、然不如螢火每夜鮮明也、老者能生火、闇夜或微雨中遇見之、大可小碗、圓而帶微青色、其行也徐不至遠、其高也亦不過於家擔、蓋鸚鵡之火、乃遲速高卑不定焉、鳥與蟲之異以然矣、

〔重修本草綱目啓蒙二十七蟲二蜘蛛一〕中

集解、絡新婦ハ、ジヨロウグモ中京略テラグモ和州ハタヲリグモ豫州コガネグモ琉球此

蛛ハ身瘠長ク一寸許、黃色ニシテ黑青赤斑アリテ美ハシ、足ニモ黑黃斑アリ、庭樹ノ間ニ巢ヲ張り、晝夜蟲ヲ取り食フ、其絲黃色ニシテ甚ツヨシ、